

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
音楽基礎A 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	アレンジャー				
授業概要											
<p>ボーカリスト、シンガーとしてのスキルを向上させる。1. 正しい発声法を学ぶことにより、ピッチコントロールがうまくできるようになる。2. 喉の筋肉を鍛え、喉や体の正しい使い方を学ぶことにより、長く歌っても枯れづらい喉を作る。3. リズムやグルーブ、声の出し方などのニュアンスを学び、表現力を身につける。</p>											
到達目標											
<p>自分の理想とするボーカリスト、アーティストに近付き、プロの現場でも通用する技術、姿勢を身につける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
授業方法											
<p>この授業は基本的にはマンツーマンで、発声からそれぞれの生徒に合ったレッスン方法で指導していく。楽曲に関しては、基本的には生徒のやりたい楽曲で進めていくが、苦手な分野や克服したいポイントがあればその都度生徒に合った課題曲を一緒に考え、順庵精を持って指導していく。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>生徒が持つ個性を大切に、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。各学生が目指しているところが違うため、まず到達点をどこにするのか(シンガーソングライターなのか、またそれはどういうスタイルのものか)等、細かくを密に話し合いながらレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	まず授業を始めるにあたって学生一人一人とビジョンなど相談していく。										
第2回	これからやりたいものについて歌唱を交えて相談していく。										
第3回	発声等基礎を課題曲を使って習得する										
第4回	滑舌、言葉の意味について考える										
第5回	言葉の響き、およびフレージングを意識して歌唱してみる										
第6回	緩急の取り方について考え、自由曲のフルコーラスで実践してみる										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
音楽基礎A1	
第7回	ボーカリストとしての体づくりのアドバイス1
第8回	ボーカリストとしての体づくりのアドバイス2
第9回	中間テスト それぞれがフルコーラスで授業内に発表をする。
第10回	発表会の演目、形態を決める
第11回	それぞれの学生の課題を理解させ、克服に取り組んでいく。
第12回	それぞれの学生の課題を理解させ、克服に取り組んでいく。
第13回	発表会(レベルチェック) に向けての仕上げ
第14回	発表会(レベルチェック) に向けての仕上げ
第15回	全体のまとめ